NIE実践報告

１．タイトル：新聞や広告を読み、身近なところから経済について考えよう。

２．学校名

原北中学校

３．実践者名（代表者名）

大橋道仁

４．学年

第３学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科・公民的分野・３７人

６．単元（本時の学習課題）名

新聞から市場経済について考えよう。

７．目標(狙い)

新聞の経済面や広告などを読み、需要と供給の関係について考える。

８．評価の視点

新聞や広告を見て、経営者側の立場と消費者側の立場に立ち、需要と供給の関係と価格の仕組みについて身近なところから具体的に考えさせる。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

市場経済と金融（教科書教材：東京書籍）6時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①市場経済について、商品の価格がどのようにして決まるのか考えていく。（２時間）
②需要と供給について広告や新聞を基に考える。（1時間）
③金融の働きを銀行の仕組みから考える。（2時間）
④働く人たちの生活向上について、労働における様々な問題について取り上げ考える。（1時間）
（留意点）
・私たち自身が消費者であること。また、これから先労働者になることというように自分たちが経済の中で当事者となるという視点を持たせて考えさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

経済の中では、さまざまな専門用語が出てくるが、新聞を活用して自分のこととして取り上げていくことでより身近なものとしてとらえ、積極的に考え意見する場面が見られた。

12．成果と課題

新聞を活用することで、生徒も世の中の姿を知り、興味を深めていくことができた。そして、新聞から得た情報をもとに身近なものとして経済をとらえさせ、内容を深めさせることもできた。今後生徒が、新聞で得た情報をもとに生徒自身の意見をもてるように今後も支援していきたい。